



# 週間情報



No.0533

発行日 令和5年9月12日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03-3234-1321

## 両会の動き

### ◆ 緊急消防援助隊合同訓練を実施

#### 愛媛県消防長会（愛媛）

愛媛県消防長会では、令和5年8月25日（金）、26日（土）の2日間、久万高原町において、令和5年度愛媛県消防長会緊急消防援助隊合同訓練を実施しました。

この訓練は、県内の消防本部相互の連携強化を図るとともに、関係計画などの検証を行うことを目的として実施したものです。

当日は、実践的な想定訓練を実施したほか、後方支援活動訓練では、県内で初めての試みとなる女性隊員の派遣訓練を実施し、女性隊員が緊急消防援助隊に派遣された場合のソフト面、ハード面などの課題を把握し、今後の体制整備に反映できるよう取り組みました。

今後も、実践的な連携訓練を継続し、愛媛県大隊のさらなる災害対応能力の向上に努めてまいります。



【想定訓練の様子】



【女性隊員派遣訓練後の記念撮影】

## 消防本部の動き

### 訓練

#### ◆ 解体予定の建物を活用した合同消防・救助訓練を実施

##### 埼玉県南西部消防局（埼玉）

埼玉県南西部消防局では、令和5年8月16日（水）から18日（金）までの3日間、解体予定の建物を活用して、埼玉県警察本部、東京消防庁、戸田市消防本部と合同消防・救助訓練を実施しました。

この訓練は、株式会社URコミュニティの協力を受け、実災害に近い環境下で消火活動、人命救助活動、破壊活動などを実施し、隊員の災害対応能力の向上と各関係機関との連携強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、総勢285人が参加して、玄関ドア・窓ガラス・コンクリート壁の破壊訓練、屋内検索・排煙訓練、梯子車を活用した放水訓練、都市型救助資器材を活用したロープレスキュー訓練などを実施しました。

今後も関係機関と連携し、災害対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

#### ◆ 高圧送電塔事故対応訓練を実施

##### 上野原市消防本部（山梨）

上野原市消防本部では、令和5年8月10日（木）、22日（火）の2日間、東京電力ホールディングス株式会社と連携して、高圧送電塔事故対応訓練を実施しました。

この訓練は、高圧送電塔における事故発生時に、安全・迅速に活動ができるよう、高圧送電塔に関する知識や救助技術の向上を図るとともに、同社との連携強化を図ることを目的として実施したものです。

訓練では、当消防本部において、講師として同社の職員をお招きし、高圧送電塔における危険箇所などについて座学を実施したほか、東京電力パワーグリッド石和架空送電訓練施設において救出訓練を実施しました。

今後も、各関係機関と訓練を継続し、災害対応力の向上に努めてまいります。



【座学の様子】



【救出訓練の様子】

◆ 「フォーラムエイト・ラリージャパン2023」の開催に伴う消火訓練を実施  
豊田市消防本部（愛知）

豊田市消防本部では、令和5年8月22日（火）、「フォーラムエイト・ラリージャパン2023」の開催に伴う消火訓練を実施しました。

この訓練は、令和5年11月16日（木）から19日（日）までの4日間、当市において「フォーラムエイト・ラリージャパン2023」が開催されることから、「競技中にラリーカーが事故を起こし炎上している。」という想定で、当消防本部が今年度導入した耐熱シートを活用した消火訓練を実施したものです。

この耐熱シートは、耐熱性の素材で作られたシートで、車両火災が発生した場合、炎上中の車両に直接覆い被せることで、窒息消火を行う資器材です。

「フォーラムエイト・ラリージャパン2023」が安全に開催されるよう、災害対応力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ ドローン無線中継システムと遭難者位置特定システムを活用した遭難者捜索合同訓練を実施  
八丈町消防本部（東京）

八丈町消防本部では、令和5年8月24日（木）、八丈島の八丈富士において、ソフトバンク株式会社が開発した、ドローン無線中継システムと遭難者位置特定システムを活用して、同社と遭難者捜索合同訓練を実施しました。

この訓練は、遭難者のGPS信号が送受信できない環境において、通信機器を搭載したドローンが電波を中継し、一定の範囲を送受信可能なエリアとするドローン無線中継システムと遭難者の位置情報を取得する遭難者位置特定システムを活用して、遭難者の早期発見につなげることを目的として実施したものです。

当日は、「噴火口跡の森林地帯において、遭難事故が発生した。」との想定で、同システムを活用した捜索活動を実施し、ドローン無線中継システムの電波を発信してから30秒以内で遭難者の位置を特定して、迅速に遭難者を発見・救出することができました。

また、捜索隊員のスマートフォンに遭難者の位置情報を通知することができるほか、遭難者に近づくとアラームが鳴動する仕組みとなっているため、安全かつ効率的に捜索活動を実施することができました。



【システム説明の様子】



【遭難者発見時の様子】

## ◆ 機動隊と合同訓練を実施

### 磐田市消防本部（静岡）

磐田市消防本部では、令和5年8月22日（火）、29日（火）の2日間、静岡県警察磐田警察署機動隊と合同訓練を実施しました。

この訓練は、消防と警察が専門的な知識や技術を共有し、相互に災害対応能力の向上と連携強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は2想定（水害救助想定訓練では救命ボートを使用した救出要領について、交通救助想定訓練では車両破壊の要領について）の訓練を実施し、相互に知識や技術を共有しました。

今後も、各機関との合同訓練を継続し、実災害に備えてまいります。



【訓練の様子】

## 研 修

## ◆ 職員人材育成研修会を実施

### 佐久広域連合消防本部（長野）

佐久広域連合消防本部では、令和5年8月21日（月）、22日（火）の2日間、職員人材育成研修会を実施しました。

当日は、当消防本部の職員約100人が参加し、一般社団法人日本防災教育訓練センター代表理事のサニーカミヤ氏を講師にお招きし、人材育成の重要性やハラスメント防止についてご講義いただきました。

本研修を通して、自主性のある人材を育てることがハラスメント対策につながるという共通認識を持つことができました。

今後も、認識のアップデートを行い、人材育成に努めてまいります。



【研修会の様子】

## ◆ 水難救助技術研修会を実施

### 津久見市消防本部（大分）

津久見市消防本部では、令和5年8月22日（火）、水難救助技術研修会を実施しました。

この研修会は、水難事故が発生した場合に備え、水難事故に関する知識や救助技術の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、海上保安庁大分海上保安部の職員2人を講師にお招きし、水難救助業務に関する基礎知識や海面作業要領などについてご講義いただいた後、同庁が保有している装備品や救助資器材の使用方法について説明を受けました。

今後も、研修や訓練を継続し、水難救助技術の向上に努めてまいります。



【研修会の様子】

## ◆ ALT（外国語指導助手）に防災研修会を実施

### 松山市消防局（愛媛）

松山市消防局では、令和5年8月25日（金）、愛媛県生活文化センターにおいて、今年度採用された同県のALT（外国語指導助手）の外国人に対して、防災研修会を実施しました。

この研修会は、県内で外国人が安心して暮らせる環境を構築するため、災害などの緊急事態が発生した場合の対処方法について周知することを目的として実施したものです。

当日は、約50人が参加し、119番通報、初期消火訓練、救命講習などを実施しました。

今後も、各種研修会を企画し、外国人も安心して暮らせる街づくりを構築してまいります。



【研修会の様子】



【初期消火訓練の様子】

◆ 「関東大震災100年特別研修～Next Generationへの伝承～」を実施  
津市消防本部（三重）

津市消防本部では、令和5年8月25日（金）、28日（月）の2日間、「関東大震災100年特別研修～Next Generationへの伝承～」を実施しました。

この研修は、阪神淡路大震災と東日本大震災に出動した当消防本部の職員が、次世代の職員へ大震災の経験を伝承し、災害対応能力の向上につなげることを目的として実施したものです。

当日は、被災地の状況や活動内容などについて講義を行い、参加した職員は過去の教訓を今後の災害対応に生かすべく、真剣に耳を傾けていました。

今後も、研修や図上訓練などを継続し、大規模災害の発生に備えてまいります。



【研修の様子】

◆ 鉄道車両構造説明会を実施

鳥取県東部広域行政管理組合消防局（鳥取）

鳥取県東部広域行政管理組合消防局では、令和5年8月30日（水）、JR西日本後藤総合車両所鳥取支所において、鉄道車両構造説明会を実施しました。

この説明会は、JR西日本鳥取鉄道部の協力を得て、鉄道車両の構造について理解し、鉄道事故における活動能力の向上と、関係機関との連携強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、実際の鉄道車両を用いて、鉄道車両の基本構造、非常用ドアロックの開閉方法、車両下部の危険箇所の把握、災害発生時における二次的災害防止、現地連絡責任者との連携要領について確認しました。

今後も、多様化する社会情勢を踏まえ関係機関との研修を継続し、災害対応能力の向上に努めてまいります。



【説明会の様子】

## その他

### ◆ 消防機関への協力事業所に感謝状を贈呈

#### 大牟田市消防本部（福岡）

大牟田市消防本部では、令和5年8月18日（金）、消防機関への協力事業所に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、令和5年7月7日（金）、管内の一般住宅で発生した建物倒壊事案において、建物内に女性1名が取り残されている可能性があるとの情報から、要救助者を検索するために瓦礫除去をマンパワーで実施しましたが、時間を要すると判断し、緊急的対応として3事業所に対して重機を活用した活動協力を依頼したものです。

結果として要救助者はいませんでした。重機を活用した検索活動により、活動時間の短縮と活動人員の負担軽減につながりました。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

### ◆ 火災協力者に感謝状を贈呈

#### 松本広域消防局（長野）

松本広域消防局では、令和5年8月10日（木）、23日（水）の2日間、火災協力者に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、令和5年7月10日（月）、松本市内の山間部で発生した車両火災において、現場を通りかかった2人が連携し、119番通報を実施するとともに、車載の粉末消火器を使用して初期消火を実施したものです。

協力者2人の勇気ある行動により、火災の被害を最小限にとどめることができました。当消防局では、住民の皆さんとともに地域の安全・安心を支えてまいります。



【感謝状贈呈後の記念撮影  
10日：初期消火者】



【感謝状贈呈の様子 23日：通報者】

## ◆ 幼年防災教室を開催

### 喜多方地方広域市町村圏組合消防本部（福島）

喜多方地方広域市町村圏組合消防本部では、令和5年8月22日（火）、管内の園児を対象とした幼年防災教室を開催しました。

この防災教室は、幼年期から防火・防災について学び、将来の地域防災を担う人材を育成することを目的として開催したものです。

当日は、約70人が参加し、煙体験、放水体験、リスクウォッチ体験、住宅用火災警報器の説明などを実施しました。

今後も関係団体と連携し、防火・防災について普及啓発を実施してまいります。



【幼年防災教室の様子】

## ◆ AR体験イベントを実施

### 東京消防庁（東京）

東京消防庁板橋消防署では、令和5年8月21日（月）から25日（金）までの5日間、板橋区役所の広報スペースにおいて、志村消防署と合同で、関東大震災から100年の広報展示と併せたAR体験イベントを実施しました。

このイベントは、防災週間の一環として、来場者に火災予防について周知することを目的として実施したものです。

AR体験とは、ARゴーグルを装着し、今いる場所で実際に火災が発生しているかのような体験と初期消火体験ができるものです。

体験者から「煙の様子がリアルで、燃え広がるまでの時間が早いと思いました。」との意見をいただき、初期消火の重要性を広報する良い機会となりました。



【AR体験イベントの様子】

## ◆ 「イオン防災・救命119オープンキャンパス」を実施

習志野市消防本部（千葉）

習志野市消防本部では、令和5年8月26日（土）、イオンモール津田沼店において、「イオン防災・救命119オープンキャンパス」を実施しました。

このイベントは、内閣府、千葉県危機管理政策課、習志野警察署、当市危機管理課、当市消防団、当市内郵便局、イオン株式会社と当消防本部が協力し、各協力団体のブースやステージイベントを通して、来場者に防災・備蓄の重要性について広報することを目的として実施したものです。

当日は、公益財団法人日本消防協会の消防応援団と公益財団法人日本AED財団のAED大使を務める、プロレスラーの蝶野正洋氏が出演し、ステージ上において消防職団員と防災やAEDについてのトークや実演を行ったほか、消防ブースではAEDの取り扱い訓練、消火訓練、住宅防火指導、消防団員の募集などを実施しました。

今後も、関係団体と連携して防火・防災意識の普及啓発に努めてまいります。



【オープンキャンパスの様子】

## ◆ ふくおか都市圏Kidsジョブチャレンジを開催

宗像地区消防本部（福岡）

宗像地区消防本部では、令和5年8月26日（土）、27日（日）の2日間、ふくおか都市圏Kidsジョブチャレンジを開催しました。

これは、今年度、福岡都市圏広域行政推進協議会から開催協力の依頼を受け、職業体験プログラムを通じて子どもたちのキャリア教育の推進や、魅力ある産業を通じて地域経済の振興を図るとともに、子どもたちや保護者が地域内を周遊することで観光振興につなげることを目的として開催したものです。

当日は、5歳から中学3年生までの112人が参加し、はしご車を活用した高所進入訓練、出動訓練、屋内進入訓練、放水訓練、消火器取り扱い訓練など、さまざまな訓練を実施しました。



【ふくおか都市圏Kidsジョブチャレンジの様子】

## ◆ 防火・救急啓発活動を実施

### 天草広域連合消防本部（熊本）

天草広域連合消防本部では、令和5年8月27日（日）、地域のイベント「鬼の城公園マルシェ」会場において、防火・救急啓発活動を実施しました。

当日は、中央消防署五和分署の職員が、車両の展示・記念撮影、応急手当要領の説明、住宅用火災警報器の設置場所クイズ、火災予防を広報するための啓発物品の配布などにより、多くの来場者に対して、防火・救急についての啓発活動を実施しました。

今後も、救急車の適正利用や住宅用火災警報器の設置・維持管理を促し、地域と消防が一体となり災害に強い街づくりに努めてまいります。



【啓発活動の様子】

## ◆ 少年消防クラブ夏休み消防体験学習会を開催

### 伊勢崎市消防本部（群馬）

伊勢崎市消防本部では、令和5年8月28日（月）、少年消防クラブ夏休み消防体験学習会を開催しました。

この学習会は、伊勢崎佐波少年女性防火委員会が主催したもので、少年期からの防災教育や体験を通じて、防火・防災の普及啓発を図るとともに、消防業務、自主防災組織、消防団への理解を深めてもらい、地域防災力の強化につなげることを目的として毎年開催しているものです。

当日は、消防庁舎や車両の見学、各種訓練の体験を実施しました。

今後も、各種イベントを通じて、防火・防災の普及啓発に努めてまいります。



【学習会の様子】

## ◆ 幼年消防クラブに鼓笛隊セットが贈呈

みやま市消防本部（福岡）

みやま市消防本部では、令和5年8月28日（月）、一般財団法人自治総合センターから岩田幼稚園幼年消防クラブに対して鼓笛隊セットが贈呈されたことから、贈呈式を実施しました。

これは、同センターが宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な備品などを助成し、地域のコミュニティの充実強化を図るとともに、幼年消防クラブ員の育成や防火思想の普及啓発を図ることを目的として贈呈されたものです。

今後、贈呈された鼓笛隊セットを通じて、地域防災力の向上につなげていただければ幸いです。



【贈呈後の記念撮影】

## ◆ 共同連携して開発した消防隊キャンディの発売が開始

姫路市消防局（兵庫）

姫路市消防局では、令和5年9月4日（月）、当市に主要工場を有する株式会社扇雀飴本舗と共同連携して開発した、「食べたら君も消防博士!? 消防隊キャンディ」の発売が開始されました。

このキャンディは、当消防局が企画・監修し、同社が製造・販売したもので、当市出身のイラストレーターやなみ氏が当消防局の救助隊、消火隊、救急隊、予防職員、音楽隊をデザインした商品となっています。

キャンディの個包装裏面には、当消防局の職員で考えた、学校の授業やテレビでは知ることのできない消防に関する豆知識が計24種類掲載されており、子どもから大人まで楽しめるよう工夫しました。

全国の小売店や同社のホームページなどで販売されています。



【キャンディのパッケージ】



【株式会社扇雀飴本舗ホームページ  
二次元コード】

## 国等の動き

### 消防庁通知等

#### ◆ 緊急消防援助隊における大規模な土砂・風水害に対する活動モデルの送付について (事務連絡、令和5年9月1日)

消防庁広域応援室から都道府県消防防災主管課あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

消防庁では、激甚化する大規模な土砂・風水害に迅速かつ的確に対応していくため、平成31年3月に改訂された緊急消防援助隊の編成及び施設の整備等に係る基本的な事項に関する計画により、土砂・風水害機動支援部隊を創設するとともに、各種水陸両用車を各都道府県に配備し、救助体制の強化を図ってきたところです。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/20230901\\_kouiki\\_jimu1.pdf](https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/20230901_kouiki_jimu1.pdf)) に掲載されています。

消防庁広域応援室 広域応援調整係  
担当：伊藤補佐・中野係長・浅利事務官  
TEL：03-5253-7569  
アドレス：[kouiki-chousei@ml.soumu.go.jp](mailto:kouiki-chousei@ml.soumu.go.jp)

#### ◆ 北朝鮮による弾道ミサイル発射に係る全国瞬時警報システム（Jアラート）の改修の運用開始について (消防国第100号、消防運第77号、令和5年9月4日)

消防庁国民保護室長、消防庁国民保護運用室長から各都道府県防災・国民保護担当部局長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

このことにつきまして、内閣官房から別添「北朝鮮による弾道ミサイル発射に係る全国瞬時警報システム（Jアラート）の改修の運用開始について」（令和5年9月4日付け閣副事態第397号）のとおり、通知がありましたのでお知らせします。（別添省略）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/230904\\_kokuho.pdf](https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/230904_kokuho.pdf)) に掲載されています。

<連絡先>  
消防庁国民保護室・国民保護運用室  
安西、関根、吉田、岸、佐藤、吉井  
TEL:03-5253-7550  
E-mail:[renraku-jalt@soumu.go.jp](mailto:renraku-jalt@soumu.go.jp)

## 報道発表

### ◆ 消防団の組織概要等に関する調査（令和5年度）の結果

（令和5年8月31日、消防庁）

総務省消防庁では、全国の市区町村を対象に、令和5年4月1日現在の消防団の組織概要等に関する調査を行い、とりまとめましたので公表します。

上記調査の結果、入団者数については、重点的に取り組んできた学生団員や機能別団員の増加等に伴い、8年ぶりの増加となったものの、消防団員数は約76万3千人（対前年比約▲2万1千人）と、2年連続で2万人以上の減少となりました。一方、消防団員の処遇改善に係る対応状況については、年額報酬について基準を満たす市町村が86%となりました。

総務省消防庁では、こうした状況を踏まえ、消防団員の確保に向けて、広報の充実や処遇改善の推進、地域における優良事例の横展開など、総合的に取組を進めてまいります。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

（<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/863937a54172b4e0a720255e685743c55e2d9ddb.pdf>）に掲載されています。

#### 【連絡先】

消防庁国民保護・防災部地域防災室

塗師木（ぬしき）課長補佐、山下係長、碓井事務官

TEL：03-5253-7561

E-mail：[syobodan/atmark/ml.soumu.go.jp](mailto:syobodan/atmark/ml.soumu.go.jp)

※迷惑メール防止のため、「@」を「/atmark/」と表示しておりますので、送信の際は、「@」に置き換えてください。

### ◆ 令和5年度「救急の日」及び「救急医療週間」

（令和5年9月1日、消防庁）

○「救急の日」及び「救急医療週間」は、救急業務及び救急医療に対する国民の正しい理解と認識を深め、救急医療関係者の意識高揚を図ることを目的に、昭和57年に定められ、以来、9月9日を「救急の日」、この日を含む一週間（日曜日から土曜日まで）を「救急医療週間」としています。

○期間中、消防庁、厚生労働省、都道府県、市町村、全国消防長会、公益社団法人日本医師会、一般社団法人日本救急医学会、その他関係機関の協力のもと、全国各地において各種行事を開催します。

○消防庁では、アニメーション動画を制作し、応急手当の普及啓発を図ります。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

（[https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/20230901\\_kyuki\\_01.pdf](https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/20230901_kyuki_01.pdf)）に掲載されています。

#### 【連絡先】 消防庁救急企画室 救急連携係

担当：小味、門口、相部、西川

TEL：03-5253-7529（直通）

E-mail：[kyukyukikakukyukyurenkei\\_atmark\\_soumu.go.jp](mailto:kyukyukikakukyukyurenkei_atmark_soumu.go.jp)

※スパムメール対策のため、「@」を「\_atmark\_」と表示しております。送信の際には、「@」に変更してください。

## ◆ 防災拠点となる公共施設等の耐震化推進状況調査結果

(令和5年9月1日、消防庁)

消防庁では、防災拠点となる公共施設等の耐震化状況について調査を実施し、この度、令和4年10月1日現在の状況を取りまとめましたので公表します。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/230901\\_bousai\\_1.pdf](https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/230901_bousai_1.pdf)) に掲載されています。

(連絡先) 消防庁国民保護・防災部防災課 震災対策専門官 櫻井 志男 震災対策係長 国井 淳一郎 事務官 田村 亮平 TEL 03-5253-7525
---

### 情報提供

## ◆ 「ぼうさいこくたい2023 KANAGAWA」の開催について

### 全国消防長会

神奈川県横浜市において、令和5年9月17日(日)、18日(月・祝)の2日間で、防災推進国民大会2023(ぼうさいこくたい2023)が「次の100年への備え～過去に学び、次世代へつなぐ～」をテーマに、関東大震災の震源地である神奈川県で開催されます。

ぼうさいこくたいは、防災に関する活動を実践する多様な団体・機関が一堂に会し、取り組み・知見を発信・共有する日本最大級の防災イベントで、平成28年から開催され今回で8回目の開催となります。

※全国消防長会では、会長が本イベントを主催する防災推進国民会議の議員を務めています。

### 【ぼうさいこくたい2023開催内容】

防災力の向上へつなげるプログラムとしてセッション、ワークショップ、プレゼンテーション、展示などを実施します。

- 開催日程  
令和5年9月17日(日) 10:00～18:00  
9月18日(月) 10:00～15:30
- 開催場所  
横浜国立大学(神奈川県横浜市保土ヶ谷常盤台79-1)
- 主催  
防災推進国民大会2023実行委員会(内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議)
- 参加費  
無料
- ウェブサイト  
<https://bosai-kokutai.jp/2023/>

## 機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

### ①トップ・セカンド記事

### ②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

### ③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0516）1ページ、機関誌「ほのお」2023年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」担当：企画課 石原

原稿データは、[kikachosei@fcj.gr.jp](mailto:kikachosei@fcj.gr.jp)に送信願います。

### ④消防ワイド

#### 【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

#### 【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 原

原稿データは、[honoo@ffaj-shobo.or.jp](mailto:honoo@ffaj-shobo.or.jp)に送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

## 週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

#### 【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

#### 【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。  
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者よりメールを返信させていただきます。

TEL：03-3234-1321「週間情報」担当：企画課 岡崎

原稿データは、[weekly@fcj.gr.jp](mailto:weekly@fcj.gr.jp)に送信願います。